

我國を世界に於ける第一位させなければならぬ。自分は國際労働會議に對して多く期待して居らない然し乍ら會議に行く事は労働組合發達の上に大きな刺繡戟を與へるものであると信じて喜ぶものである、何事ても解決するには理論に立脚した實行がなければならぬ道理を道理として押し通して行ふ所の實行力がなくてはならない、然して社會改造の合理的實行力即ち改造の原動力は我々無產階級の團結の力以外に何物もあり得ないのである、我國の將來に於て労働運動が益々盛になれば國運もまた旭日の登るが如くなるのである、組織労働組合の盛衰興亡は我民衆の幸福の盛衰興亡である。

財團法人協調會大阪支所